



# つねとみ

文責：校長 橋本範憲

※「つねとみ」カラー版は恒富小ホームページでご覧いただけます。

## 「五風十雨」の話

11月の全校朝会で次のような話をしました。

「五風十雨（ごふうじゅうう）」という言葉があります。これは、五日ごとに風が吹き、十日ごとに雨が降るという意味で、気候が穏やかに育つた苗が順調に育つとか、豊作であるとか、世の中が平和であることの例えなどに使われます。

私はこの言葉を初めに見たとき、苗が育つには水が必要で、十日ごとに雨が降るのはわかりましたが、なぜ五日ごとに風が必要なのか分かりませんでした。皆さんはどう思いますか？なぜ、苗が育つのに風が必要だと思いますか？

そこで実際に農家の方に聞いてわかりました。植物は苗の時、まだ土の中に根が十分根付いていないところに風が吹くと、苗は飛ばされないように細い根がぐっと土の中で踏ん張るのだそうです。そのたびに根は強くなり、土にしっかり根付きます。つまり、風が吹くたびに根はたくましくなり、養分を吸収していくようになるのです。逆に、風が吹かないと、根はいつまでも細いままなのだそうです。

どうですか？この話、実は人間も同じなんです。私たちも気持ちの良い風、優しい風ばかりではありません。つまりいいことばかりではありません。時には冷たく厳しい風が吹き付けることがあります。例えば、お家でゲームしたいけど宿題をしなくちゃいけないったり、昼休みで友達と遊びたいのに係や委員会の仕事をしないといけないったり、スポーツの試合で負けて叱られたり、友達とけんかしたり・・・でも、そんなときこそぐっと根を張ることができるのです。つまり人間として成長できるのです。頑張りなさい。それぞれの学年で今やっていることはとても大事で、将来ものすごく役に立つことばかりです。恒富小の先生方は、全員みなさんのことを応援しています。皆さんがにくくて宿題を出しているわけではありません。将来、立派な大人になれるよう勉強を教えています。「よだきいなあ」「めんどくさいなあ」という気持ちに負けず、しっかりと根をはって、頑張ってください！



低学年の子どもたちには少し難しい内容だったかもしれませんが、最近の子どもたちの様子を見ると、運動会があり、遠足があり、宿泊学習や修学旅行などの行事もあり、ちょっと気持ちがフワフワしていたり、弱い心に負けてしまったりしている子が多い気がしました。また気のゆるみから学校の決まりを守らず、危険な遊びをしたり、交通事故にあいそうになった子もいました。それで、この話をしました。

このことは、保護者の皆様にも考えておいてほしいことでもあります。かわいい子どもたちではありますが、いつもいい天気、優しく穏やかな風ばかりだと、本当に将来が心配になります。これは、中学になってからとか高校からでは遅すぎます。日頃から、その年齢に応じた、またはその子に応じた厳しさというの必要でしょう。今のうちから子どもたちにしっかりと根をはらせていきましょう。



## 盛り上がったPTAバザー

11月6日(日)のPTAバザーは天候もよく、大変盛り上がりしました。いろいろなお店やゲームなどがあり、子どもたちもとても楽しかったようです。今回は、昨年なかったPTA役員による「名嘉真地鶏」や「高田トウモロコシ」のお店が出たり、野球部が「ストラックアウト」をしたりと、新しいものも出ていました。また4年生の子どもたちが自主的に計画したダンスの発表もあり、会場を盛り上げていましたね。

PTA役員の方々をはじめ、各学年のバザー担当の皆様やご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。また、それぞれの学年でよかった点や直した方がよい点などを参観日にでも話し合っていたいただき、PTA役員が学級担任につないでもらうとよいと思います。みんなで恒富小バザーをさらに盛り上げていきましょう。



【給食室前で】

【幼稚園前で】



【提供品販売】



【楽しいゲーム】

## 楽しかった修学旅行！

11月9～10日に6年生が鹿児島へ修学旅行に行ってきました。知覧特攻平和会館や維新ふるさと館、いおワールドかごしま水族館などを訪れました。班別研修もあり、子どもたちは自分たちだけで苦労しながら、それでも楽しみながらまわっていました。ホテルや各施設において、子どもたちはしっかりとあいさつやお礼などが言え、さすが恒富小の6年生だと誉められていました。バスの中でも歌やゲームで楽しく過ごし、小学校のよい思い出ができたと思います。



【平和会館で折り鶴を】



【ホテルでの夕食】



【水族館で】